

市民ワークショップ第2回目の実施について

- 1 日時 令和5年3月19日（日）午後1時半から午後3時半まで
- 2 人数 46名
- 3 内容

①市からの情報提供

- ・利活用検討の全体スケジュール
- ・利活用における基本的な考え方（自然環境の継承、建物の有効活用、財政負担の軽減）
- ・利活用をする際の規制・制限
- ・事例紹介（三鷹市 山本有三記念館）
- ・有識者会議での意見

②全体ワーク

市からの情報提供について、「気づいたこと」「確認したいこと」を各自で付箋紙に記入し、書かれた付箋を全体で確認しながら、必要に応じて市から補足・回答した。

③グループワーク

- ・前回のワークショップから出された視点を基に、修正や追加がないか確認しながら、「どんな過ごし方ができるか?」「どんな使い方ができるか?」想いやアイデアを付箋に書いた。
- ・書いた付箋紙をもとにグループで意見交換し、グループ内で「旧赤星邸の利活用で大切にしたいこと」をシール投票した。
- ・シール投票を参考にグループで「旧赤星邸の利活用で大切にしたいこと」を短冊にまとめ、各グループの短冊を紹介し、全体でシール投票※した。

※シール投票は、多数決で決めるのではなく、考えの傾向を共有する目安として用いた。

4 グループワークで出された『旧赤星邸の利活用で大切にしたいこと』（投票獲得順）

内容	投票数
ぼーっとしながら五感を満たす、季節とともに ex)食事、お酒、お茶	12
市民のための場として、おだやかな気持ちになれたり、様々な年代が交流したりイベントできたりしたい	10
赤星鉄馬+ナミュールの歴史 守ることの大切さを次世代に教育する	9
建物と庭の一体的な保存、レーモンド建築の質素な建物をもう少し手を入れた（整備）庭づくり⇒あの場所らしさ、たたずむぜいたく、クローズな良さを楽しむ	8
市民のリビングとして生活に地続きの場所にしたい 市民が主体的に管理する	7
100年後の人が「この場所があって良かった」と思える価値ある活用を！！ 新しい視点 「建物がある」だけでなく「人が集ってこそ」の場	7

コンサートや結婚式会場等に活用して過ごした時間が思い出になる場所に (建物の保存、近隣にも配慮)	6
土地が持つDNAを(50年、100年)つなげる 赤星さん、レーモンド、中島飛行場、修道女会、歴史	5
庭の芝を生かしてセレモニー・イベントなどの動の活動と静の活動でゆったりと飲食しながら過ごす	4
広義の市民(市内市外問わず)が小さな結婚式、家族のお葬式、卒園の集いとか小さな集まりができる	4
様々な人(子供・障がい者・高齢者・多様な人種の人 etc)が集い、共生できる愛のあふれる場所に(ピクニック、参加型WS、休けい所、子ども食堂として)	3
お庭を楽しみ、建物と一体となった眺望が楽しめる場として活用 ポーっとする、絵を描く、ガーデンツアー	3
子どもも大人も利用できる 地域のリビングのように多様な活用ができる	2
近隣の人にとって利用者にとっての安心・安全のために少しclosedなしつ らえ(少し中が見える、出入りは限られたところだけ)、運営(h24×、ペ ット×)	2
みんなのおうち、余白を残す (コミセン、施設ではなく家)(使われ方、使う人)	2
お母さんたちの勉強やワーキングスペースとしてクリエイティブな場に 赤星鉄馬の想いを受け継ぐ?	2
多くの方に知ってもらいながら(を巻き込みながら)、近隣への配慮は欠かさず	1
歴史文化を継承しながら、建築好きをひきつけたり、文化、アートギャラ リーとして使いたい	1